

ヘス (HES)

【セクター】 エネルギー

【市場】 NYSE

【企業概要】

原油や天然ガスの探鉱、生産等に従事するグローバルな独立系エネルギー会社です。シェール分野に強みを持っており、ノースダコタ州にあるバッケンで事業を行うほか、メキシコ湾、ガイアナ（中南米）、マレーシア等で事業展開しています。今後は、過去10年間で世界最大級の油田発見となったガイアナで参画している事業に注目が集まっています。ガイアナ沖のスタブローク鉱区はエクソンモービルがオペレーターで、当社は3割の権益を持っています。

【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

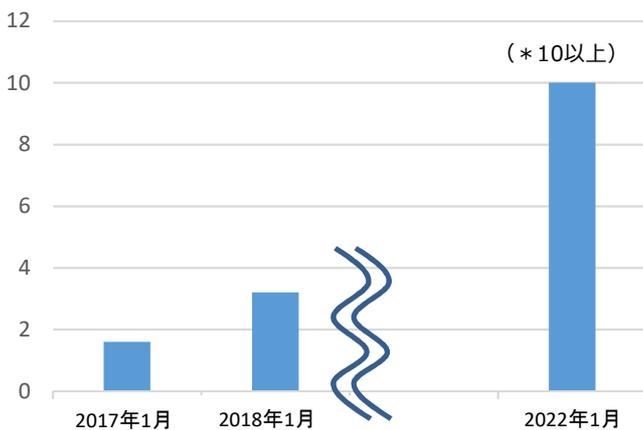
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
20.12期	4,667	-1,482	-4.87	1.00	17.5	-43.9	33.7
21.12期	7,473	664	2.15	1.00	20.3	9.6	34.2
22.12期（予）	10,306	2,677	8.56	1.39	28.9	34.3	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

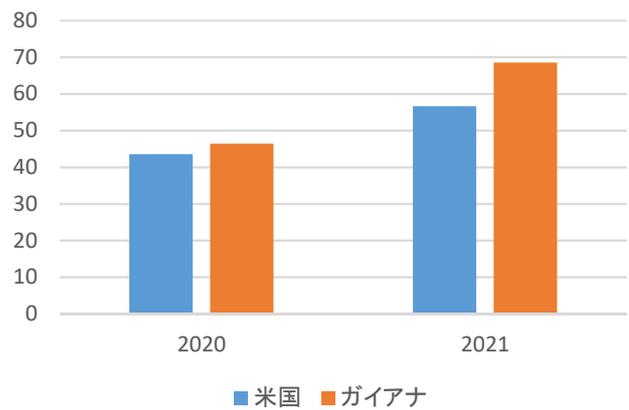
【主要指標】

スタブローク鉱区可採埋蔵量の推移（石油換算10億バレル）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

原油平均販売価格（ドル、バレル当たり、ヘッジ込み）



（出所）会社資料よりSBI証券作成

【会社の見方】

会社のポートフォリオはバッケン、メキシコ湾、東南アジア、ガイアナの4つに注力しています。会社側は2022年に投資・探鉱支出として26億ドルを見込んでいますが、このうちおよそ8割はガイアナとバッケンに集中して振り向けられます。投資により生産コストが低下する見込みで2026年までにキャッシュコスト（輸送コストを除く）が2021年比でおよそ25%低下することが期待されています。加えてポートフォリオの損益分岐点となる原油価格は2026年までに業界でも低い価格の一つとなる見通しで、原油高が続けばそのメリットをより受けやすくなることが考えられます。

【見通し・注目点】

2022年1-3月期は調整後一株利益が前年同期比59%増となり市場予想を上回りました。原油平均販売価格（ヘッジ込み）が同73%上昇したこと等が寄与しました。ジョン・ヘスCEOは今後数年のキャッシュフロー成長に自信を持っており、増配や自社株買いを通じた株主還元にも前向きな考えを明らかにしています。なお、ガイアナ沖のスタブローク鉱区において新たな鉱床が発見されたことも発表しており、スタブローク鉱区におけるビジネス機会の高さに期待が高まります。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。